

兵庫県医師会医療支援チーム（第43陣）「宮城県災害支援現地報告」

佐用郡医師会 岡本 俊和

兵庫県医師会災害支援ボランティア第43陣リーダーとして、15, 16, 17日と石巻中学に赴きました。石巻中学では、生徒たちと同居で、学校は避難してきた他の2中学も一緒です。学校内、避難所は上履きが必要で、掃除はしてありますが、埃臭く感じました。

急患はなく、診療所での診察は、午前中約5名程度で午後より他の避難所に赴き患者を診ました。患者を早く地元の医師に返すように指示がありました。患者としてこられる方に、ここも撤収するので地元のお医者さんにかかるように指示をしました。

ここは住宅街で正門の前には綺麗な教会が立っています。落ち着いた、静かな日々ですが、避難者の方々の心の中は、大変だろうと思います。

段々ハエが、増えて居るようでした。風向きによっては、魚の腐った臭いがしました。市の衛生課でしょうか、消毒液をまいていました。

先発で行かれたドクターは大変だったと思います。又その反面やってきたという気持ちがあるのではないのでしょうか。噂では帰ってから1週間寝込んだと言う先生の話も聞きます。先発の先生方ご苦労様でした。

被災地も、これから夏に向かって食中毒、熱中症、脱水症の方が増えてくるのではないのでしょうか。特にボランティアが増える土、日は要注意です。多数発症すれば石巻日赤だけで対応できるのでしょうか。隠れ鬱病も多いと思います。アルコールに頼る人も多いと思います。

最後に、私をフォローしてくださった看護協会の方々と、医師会の事務職の方々有り難うございました。